

講義名称	卒業研究Ⅱ	担当教員名	小林 俊哉
科目群	必修 (REQ)		
科目区分等	卒業研究	単 位	2
対象学年次	2年・秋学期	ナンバリング	REQ212

授業のキーワード	マスメディア、メディアリテラシー、論文執筆
授業の概要	新聞を始めとするマスメディアの実情、可能性、問題点などについての学修を継続し、研究論文を完成させます。
期待される学習成果 (目標)	1. マスメディアに関する知見を修得できます。 2. マスメディア情報に対して、健全な批判的視点が持てるようになります。 3. マスメディアに関する論考を、論文という形で表現できます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	導入	秋学期の予定や卒論テーマの確認などを行います。
2	論文の書き方	基本的な「論文」の構造、テーマの展開方法などについて学びます。
3	論文の書き方	論文論点の掘り下げ方、第二次資料の利用法について学びます。
4	ニュースとは何か	ニュースの基本、構造、特徴について学びます。
5	ニュースとは何か	ニュースの「品質」の識別法や、有意義な活用法について学びます。
6	アメリカのメディアリテラシー	メディア先進国アメリカにおけるメディア教育の実情について学びます。
7	ゼミ論中間発表	この時点で完成している論文を発表し、質疑応答を行いながら論考の進展を図ります。
8	ゼミ論中間発表	この時点で完成している論文を発表し、質疑応答を行いながら論考の進展を図ります。
9	ゼミ論中間発表	この時点で完成している論文を発表し、質疑応答を行いながら論考の進展を図ります。
10	ゼミ論中間発表	この時点で完成している論文を発表し、質疑応答を行いながら論考の進展を図ります。
11	論文指導	周到な準備のもと、論文執筆や論文指導を行います。
12	論文指導	周到な準備のもと、論文執筆や論文指導を行います。
13	論文最終確認	ほぼ完成した原稿の、内容と体裁の最終確認を行います。
14	卒論口頭発表	卒論の口頭発表を行います。
15	卒論口頭発表	卒論の口頭発表を行います。

定期試験	卒論の提出を、期末試験に代替します。
授業時間外学習	秋学期は卒業論文の作成に取り組みます。中間発表、口頭発表の準備に授業前、あるいは授業後の指定期日までに取り組んでください。
評価方法	卒論口頭発表30% (ゼミメンバーの人数にもよりますが、複数回実施予定)、卒業論文70%
使用する教科書 (必ず購入してください)	必要に応じて資料を配付します。
参考文献	